

心も体も熱くなる瞬間

A・Y・O(ジャンベ)

わたしたちは、西アフリカの太鼓「ジャンベ」を楽しむサークル、A・Y・Oです。遠山公民館で月に1回、土または日曜日に活動しているほか、太鼓まつりなどのイベントにも出演しています。

指導してくれるのは、甲斐いつろう先生です。先生は、プロバンドの伴奏を担当したりソロアルバムを制作したりと幅広く活躍するパーカッション(打楽器)奏者。豊かな経験とユニークな人柄でわたしたちをジャンベの魅力な世界へとぐいぐい引き込んでくれます。

ジャンベは、西アフリカの国々で豊作祈願



車座になって
歌声とともに



今年は公民館まつり(11月)にも参加します

やお祝いなどの儀式に登場する民族打楽器。人々の生活に今も深く根付いていて、子どもたちはジャンベのリズムとともに育ちます。胴は木製で打面はヤギの皮。独特の杯型(おひん)をした太鼓です。

和太鼓と違い、ジャンベではバチを使わずに手の平で叩いて音を出します。叩く場所や叩き方によって大地を這う低音、天を切り裂く高音、その中間の音と3つの音を出すことができ、組み合わせによって何百というリズムが生みだされます。

「調和の太鼓」ともいわれるジャンベ。リズムに身を委ね、打ち手同士の心が一つになったとき最高の喜びが訪れます。互いに繰り返す音が共鳴し、不思議なことにまるで笛の音のよう。何ともいえない開放感に包まれ、まさに心も体も熱くなる瞬間ですね。